

ふるさと港北ふれあいまつり・全市一斉統一行動キャンペーン

平成24年10月20日(土)、ふるさと港北ふれあいまつりが新横浜駅前公園にて開催されました。"まつりで地域を盛りあげよう"を合言葉に、様々なコーナーに分かれて80もの地域、団体の出店があり、大変な賑わいでした。前回に引き続き、東日本大震災復興支援として、石巻市、八戸市からの参加もありました。

青少年指導員は毎年、抽選会、野菜販売を担当しており、特に今回は野菜販売のブースで『南極の氷』を特別展示したりして、ちょっとした人気でした。青指のブースに立ち寄られた方の中には、意外な"ふれあい"に出会えた人も多かったのではないかと思います。ブースには林市長も立ち寄ってくれました。(写真中央)

今回は青指としての参加で、他のブースやステージなどを回る時間はありませんでしたが、いつかは個人で参加し、ゆっくりと"ふれあい"を楽しみたいと感じました。

また、ふれあいまつりの会場にて、全市一斉統一行動キャンペーン活動を実施しました。この活動は、「ひと声かけ運動」をテーマに、地域の皆様に青少年の健全育成への意識を高めていただくことと、青少年指導員の活動をPRすることを目的とし、毎年行っています。ふれあいまつりに会場いただいた多くの方々に、キャンペーンのチラシを受け取っていただくことができました。

地域のつながり、絆を深めることの大切さをあらためて感じた1日でした。



横浜市青少年指導員大会

平成25年3月3日(日)、市内各地より多数の参加者を迎え、「平成24年度横浜市青少年指導員大会」が関内ホールで盛大に開催されました。

第一部では、石井一也市長青指協会会長及び林文子横浜市長より、青少年指導員の熱心な活動に対する感謝と期待の挨拶があり、永年勤続の顕彰者116人に、横浜市長より感謝状が授与されました。

第二部においては、プランニング開代表・アトリエ自遊楽校主宰の新田新一郎氏による「よみがえれ!子どもの笑

顔・元気」の記念講演があり、東日本大震災で被災した子どもたちが元気で未来に向け笑顔で頑張っている映像は、大変感動的でした。また、子どもに必要な「後ろ盾」は「親、先生」ではなく、町の人である!とのことが心にのこりました。1時間20分の講演を聴き、これからの青少年指導活動への貴重な施策を学ぶことが出来ました。最後に、惜しみない拍手で終了し、本大会が閉会されました。



地区紹介

高田地区 ~たかた夏休みバスツアー~

夏休み恒例の「たかた夏休みバスツアー」も今回は参加者74名を迎え10回目の開催となりました。

今年は、横浜港「マリンシャトル」乗船と「横浜市歴史博物館」の見学をしました。「マリンシャトル」船内では、デッキで潮風と太陽の光を浴びながら横浜港のパノラマビューを楽しむ子どもたちの様子がうかがえました。その後、次の目的地「横浜市歴史博物館」に向けバスは出発しました。到着後は学年毎に分かれ、それぞれガイドさんから施設内を案内していただきました。「大塚歳勝土遺跡公園」では、子どもたちは弥生時代にタイムスリップしたかのように復元された竪穴住居やお墓など興味深く見入っていました。来年度も子どもたちの笑顔あふれるバスツアーにしたいと思います。



綱島地区

綱島の青少年指導員は15名。綱島一熱い情熱の持ち主である会長を中心に全員、元気ハツラツ活動しています。地域の活動は一年中盛り沢山です。新年歳旦祭甘酒振舞い・桜まつり・ペットボトルロケット講習会・サマーフェスティバルパトロール・少年すもう大会・お化け大会・スポーツフェスティバル・北綱島支援学校餅つき・グランドゴルフ大会 etc. 過密スケジュールの中、青指本来の活動もしっかりとこなす優秀な集団(自己満足)です。スポーツ推進委員との交流も盛んで、地元綱島を盛り上げています。

地域の行事に参加する事は子どもたちとの接点を増やします。近隣との関係の希薄性が問題視される今、地域の行事が担う責任は自分達が思う以上に大きいと自覚し、自分たちも楽しみながらよりよい活動を続けていきたいと思っています。



平成24年度 永年勤続者顕彰 受賞者 ~15年顕彰~

- 岩本由紀夫 (日吉)
- 堂坂昌代 (綱島)
- 武田五八 (大曾根)
- 横溝光明 (樽町)
- 阿部誠吾 (樽町)
- 高橋稔 (新羽)

編集後記

今月号からフルカラーになりました。写真も見やすくなり、自然体験教室では参加した子どもたちの活き活きとした表情が伝わってくるようです。アンケートにもたくさんの「楽しかった」という声が寄せられました。すべて載せられないのがとても残念です。(>ω<)



あいちゃん このマークは、青少年にやさしい環境を願ってヨコハマの青少年指導員が決めたものです。



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第31号
平成25年5月発行
発行者 港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局 港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2242
FAX 045-540-2245

港北青指 検索

港北区青少年健全育成シンポジウム

平成25年3月12日(火)、港北公会堂ホールにて「青少年健全育成シンポジウム」が開催されました。

「地域力の向上をめざして」を講演テーマに、常々地域の子もたちに対し、いろいろな方面で取り組まれている関係団体の皆さまが集まりました。

初めに、小川浩之港北区長の挨拶があり、昨年8月に行われた「ふるさと港北小中学生会議」では、「災害に備えて」をテーマに話し合われ「地域の交流や絆を深めていくためにも『あいさつ』を心がけること」「地域の子もたちを、暖かい目で見守り・指導すること」が大切と話されました。

次に、新田小学校6年生池淵響さんの作文が発表され、災害時には「地域の助け合い」が必要です。その為には地域との交流が大事。人と人が「あいさつをする」ことで、された相手は「いい気持ちになる」「笑顔になる」そこから絆を深めることができると話されました。

ひと声かけ運動について、石井一也区青指協会会長は、「希薄になってきた地域との繋がり」「人とのふれあい」を見直し、地域ぐるみの健全育成を考え、また、青少年の孤立が生み出す様々な問題に対し、考えていかなければならない。それには、「親身に話を聴くTalk」「抱き寄せて泣かせてあげるTears」「間を取ってあげるTime」の「3つのT」が必要であり、「おはようのあいさつ」「優しいひと言」が大事だと話されました。

パネルディスカッションでは、「横浜市子ども・若者支

援協議会」の方々が、活動内容を話されました。中でも、岩室紳也公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長は、それぞれの大人たちが得意とするところで繋がり、その「輝く姿は、子どもたちも注目する」それは「子どもたちの生きる力を育む」。そして、人と人の関係性の再構築は、地域の健康となり「繋がりあう力になる」とお話しされました。

最後に、石井一也区青指協会会長は、より一層大人たちの理解を深め、子どもたちの「理由なき不安感」「心の病」を考えていかなければならない。「地域力の向上は助け合う力にかわる」と締めくくりました。



パネリスト

- ◎岩室 紳也【コーディネーター】
(公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長)
- ◎阿部 敏子 (県警察本部少年相談・保護センター所長)
- ◎中野しずよ (特定非営利活動法人ワークスわくわく理事長)
- ◎林田 育美 (都筑区青少年地域活動拠点館長)
- ◎山元 泰弘 (横浜市立小学校長会代表)
- ◎梁田理恵子 (横浜市主任児童委員連絡会代表)
- ◎宮崎 豊久 (ネットスター株式会社インターネットポリシースペシャリスト)
- ◎石井 一也 (横浜市青指協会会長、港北区青指協会会長)

神奈川県青少年指導員大会

平成24年12月2日(日)、関内ホールに於いて「第45回県青少年指導員大会 ~育てよう、未来を託す青少年~」が開催されました。

まずは旭区中沢小学校の皆さんによる澄んだ美しい歌声で開幕。心にじーんと響きました。

続いて、石井市青指協会会長による開会のことば、鈴木県青指会長、吉川県副知事、鈴木副市長の挨拶があり、長年県下で活躍されてきた60名の青少年指導員の方々への表彰が行われました。

休憩後、神奈川県青指の方から「小学校音楽フェスティバル」開催について、続いて南区青指の方から「ボイス・オブ・ユース~青少年の主張~」と題した作文発表会開催についての活動報告がありました。

次に、薬師寺執事で奈良少年刑務所の面接委員でもあ

る大谷徹英師による講演がありました。テーマは「幸せの条件」。気さくな口調で、時にはユーモアも交えながらお話し下さいました。

・幸せとは「身心安楽」であること。目に見える目・耳・鼻・口・皮膚の5つのアンテナで目に見えない「心」を受け止める。すると「楽身→楽心」に、心は楽になり「安心」に。

・相手の言葉に宿る「魂」を聴く。

・人間関係は良くも悪くも「よっぽどの縁」。

などの言葉が印象に残りました。人間にとって本当に大切なこと、人とのつながりなど、あらためて考えさせられた有意義な時間でした。



第4回 自然体験教室

平成24年11月10日(土) 港北区青少年指導員協議会は、区内の子どもたち172名を引率し、宮ヶ瀬湖・県立あいかわ公園で自然体験教室を実施しました。当日朝8時に大型バス4台で区役所を出発。お天気や交通渋滞の心配もなく予定通り現地に到着。現地では色々な乗り物に乗って湖周辺を巡り、ダムを見学し、工芸体験もしてきました。盛り沢山のスケジュールでしたが、参加した子どもたちの感想は？何が楽しかったかな？



① 知らない友達と仲良くなれた。(4年、女子)

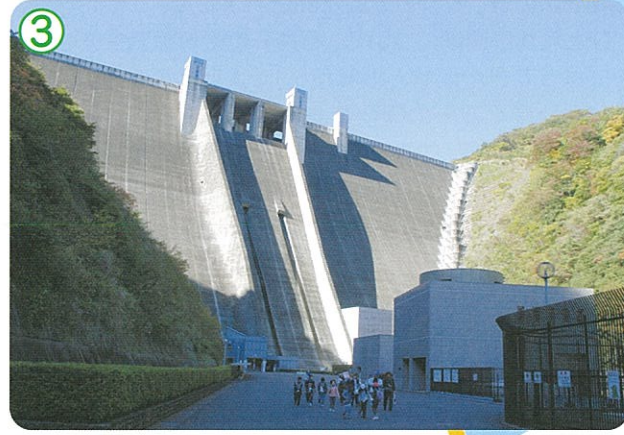
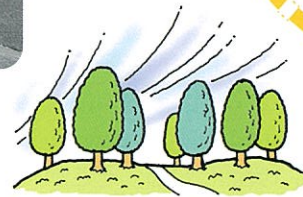


① 乗り物がたくさん乗れた。(5年、女子)
① ロードトレインミーヤ号に乗れた。(6年、男子)

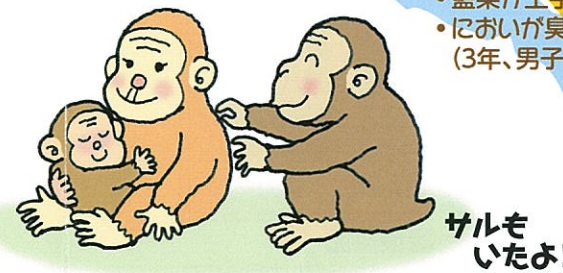
① 遊覧船やケーブルカーが楽しかった。(3年、女子)



② 船に乗ったのが良かった。(6年、女子)



③ ダムのごとがとても良く分かった。(6年、男子)



サルもいたよ!



相模原方面

厚木・伊勢原方面



④ 竹でトンボを作れた。(4年、男子)
④ とても難しかったけど、すごく楽しかった。(4年、女子)



④ お母さんのお土産になつた。(4年、男子)
④ 作り方を丁寧に教えてくれた。(3年、女子)
④ 藍染が上手にできた。(3年、女子)
④ においが臭かったけど、いい作品ができた。(3年、男子)



④ 今日はふわふわをしたし、みんなでご飯を食べたので楽しかったです。(3年、女子)
④ 天気も良く、久しぶりに勉強との戦いから抜け出すことができました。とても良い気分転換になりました。(5年、女子)



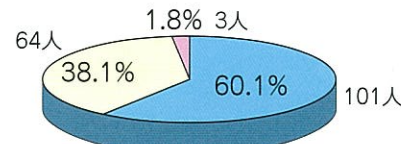
④ 満足だったけど、たくさん歩いて疲れた。(5年、女子)
④ 自然がきれいでとても楽しかったです。また行きたいです。(4年、男子)
④ 空気が良かった。(4年、男子)



④ もっと作りたかったです。(4年、女子)
④ 自分で皿を作って世界に一つだけのものを作れて良かった。(4年、女子)
④ スタンプや鉛筆で形をつけるのが楽しかった。(5年、女子)
④ お皿を作れて良かった。二カ月後に来るのが楽しみ。(5年、男子)

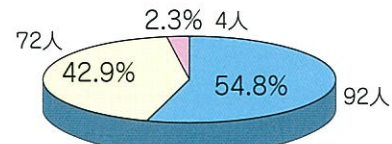
第4回 自然体験教室のアンケート集計結果

Q1 今回の自然体験教室は、満足でしたか？(どれか一つを回答)



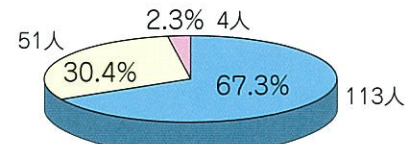
とても満足 ■ 満足 □ 不満足 ■

Q2 場所が「宮ヶ瀬湖とあいかわ公園」で良かったですか？(どれか一つを回答)



とてもよかった ■ よかった □ よくなかった ■

Q3 工芸体験は、よかったですか？(どれか一つを回答)



- ④ バスの中も楽しいし、愛川のダムも見れ、たくさん遊び藍染もして面白かったです。(5年、女子)
- ④ 今日はめったにできない体験ができて良かったです。今度あるときも、ぜひ参加したいです。(5年、女子)
- ④ とても楽しかったです。特に工芸体験が楽しかったです。自然とかを教えてくださいましたので、とても良かったです。また行きたいです。(6年、女子)
- ④ 自由行動のとき、面白いことがあった(何が良かったかは内緒)。(4年、男子)
- ④ 宮ヶ瀬湖の大きさに驚いた。今日はありがとうございました。(6年、男子)



④ トランポリンで落ちたりするのが楽しかった。(6年、男子)
④ ふわふわドームがとにかく楽しかった。(6年、男子)



④ 自分一人で出来るものじゃない。(4年、女子)
④ 紙すきで、もみじがかわいくできた。(4年、女子)



④ 織物が早く織れた。(3年、男子)
④ 自分の好きな作品が作れた。(4年、女子)